

糖尿病リハのエキスパートが教える

PT・OT・STのための 糖尿病を基礎から理解するセミナー

講師

阿部 誠也

先生

湘南藤沢徳洲会病院リハビリテーション室 理学療法士
糖尿病療養指導士

「だいたい知ってる」というのが一番のリスク。

人間は手持ちの知識だけで答えを作ろうとする動物です。そして、これが1番のリスクです。例えば、同じHbA1c5.8%でも、日々の血糖値の振れ幅が大きい人ほど血管合併症リスクは上がります。数値だけを見て「5.8%ならだいたい大丈夫のはず」と思ってしまったなら、この危険性に気づくことはできません。当然、本来必要な指導が行われることはありません。「問題無い患者」としてスルーされるかもしれません。中途半端な知識が最大のリスクです。

だから基礎から学びます。

そもそも、例えばHbA1cって何でしょうか？何らかの物質でしょうか？それとも計算で導かれる数値でしょうか？なぜこの数値が過去1～2ヶ月の血糖の平均を反映するのでしょうか？HbA1cはなぜ%表示なのでしょう？極めて重要な指標だということを「だいたい」知っている私たちは、HbA1cが何であるかさえ正確に説明できません。「私たちは、何も知らない。」という立場に立脚することから始めます。解剖・生理・病理・薬理の理解について、基礎から徹底的に解説します。

糖尿病は、ほぼ全ての臓器に悪影響を及ぼし、ほぼ全ての治療を阻害します。 重複疾患の時代、療法士としても避けては通れない領域と言えます。

全身の血管にダメージを与え、足を奪い、視力を奪い、腎臓や心臓や脳を破壊します。神経を犯して、思考まで奪い去ります。本人も気付かぬほどゆっくりと。糖尿病はリハビリテーションにとって最大最強の敵。そして、糖尿病克服の鍵を握るのもリハビリテーションです。全ての領域の療法士が知っておくべき知識が満載です。

セミナー内容

対象:PT・OT・ST・NS・その他

- ①糖尿病の診断について知る(血糖値測定の方法(SMBG、CGM、FGM)、そもそもHbA1cとは)
- ②慢性高血糖の原因について知る(インスリン抵抗性とは、インスリン分泌が低下する機序とは)
- ③糖尿病の合併症について知る(高血糖が血管に与える影響とは)
- ④糖尿病の薬物療法について知る(スライディングスケール法とは、経口血糖降下薬と注射血糖降下薬(インスリン、GLP-1受容体作動薬)、それぞれの薬剤はどこにどのように働くか)
- ⑤糖尿病の運動療法について知る(運動の急性効果・慢性効果とは、サルコペニアが与える影響とは)
- ⑥最近の話題(人工膵臓、経口インスリンの開発、ファスティングなど)
- ⑦質疑応答

日時

2024年10月27日(日) Zoomオンラインで開催いたします。
10:00～12:20(予備時間12:40まで)(9:45～Zoom受付開始)
定員:30名 / 参加費:6,500円(税込) / 最小催行人数:10名

お申し込みは **Webサイト** で賜ります

ナレッジリンク

検索

<https://www.knowledgelinekrea.com>

ナレッジリンクHP